

ま え が き

地球温暖化や大気汚染、森林の減少など世界的規模で深刻化している環境問題は、私たちの身近な環境に大きな影響を及ぼしつつあります。

中でも地球温暖化や資源の枯渇、生物多様性の減退等は、自然の生態系に大きな影響を及ぼすだけでなく、人類の生存基盤を脅かす深刻な問題であり、早急な対策が求められています。

本県は、「日本の^{にっぽん}ひなた宮崎県」というキャッチフレーズのとおり、全国でもトップクラスの温暖な気候を誇り、豊かな森林や水資源、さらにはそこで育まれる多様な動植物など、素晴らしい自然環境に恵まれてきました。

一方で、温室効果ガスや廃棄物の排出抑制、生活環境や生物多様性の保全、二酸化炭素吸収源としての森林整備等の課題に加え、地球温暖化に伴う被害を最小化するための沿岸整備や伝染病予防等の適応策や、PM2.5をはじめとする越境大気汚染物質への対応など、新たな課題も抱えています。

こうした情勢の変化を的確に捉え、新たな課題にも対応するため、本県では、「宮崎県環境計画」に基づき様々な環境保全施策を推進しており、その中で県民の皆様にも環境に配慮したライフスタイルへの転換を求めているところです。

この白書は、平成26年度の本県における環境の状況と環境の保全に関して講じた施策の概要をまとめたものです。

本書が広く活用され、県民の皆様が環境問題に対する理解と認識が一層深まり、持続可能な社会の実現に向けた取組がさらに進むことを切に願っております。

平成28年1月

宮崎県知事 河野 俊嗣